

ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

ボーリング名No.42

調査位置

北緯36°31'42.0000"

東経139°55'10.0000"

発注機関栃木県宇都宮土木事務所

調査期間2008-08-18 ~ 2008-08-20

ボーリング責任者

調査業者名

主任技師

現場代理人

コピア鑑定者

孔口標高98.73 m

角180°上90°下0°0.00°

方270°西90°東180°南00°

地盤勾配鉛直90°0.00°

使用機種

試錐機

ハンマー落下用具

総掘進長10.45 m

エンジン

ポンプ

シートNO.

標尺	層高	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位(m) 測定月日	標準貫入試験					原位置試験	試料採取	室内試験	掘進月日			
											深度	10cmごとの打撃回数			貫入量					N値		
												0	10	20								
(m)	(m)	(m)	(m)							(m)	(m)	10	20	30	(cm)	(m)	試験名および結果	深度	試料番号	採取方法		
1				盛土	暗褐～黒灰		やわらかい	0～0.4mは粘土混じり砂礫で、φ2～75mm程度の円礫主体。0.4以深は砕石・廃棄物・木片が混じる。			1.15				3							
2	96.53	2.20	2.20								1.45	1	1	1	30	3						
											2.15	1			1	30						
3	96.03	0.50	2.70	シルト(M)	淡褐		非常に	上部は腐植物が混じる。下部は砂が混じる。		08/20 3.00	2.45											
				礫混じり細砂(FS-G)	褐		中くらい	φ2～30mm程度の円礫が混じる。全体に少量の粘土分が混じる			3.15				16	30	16					
4	95.23	0.80	3.50					φ2～75mm程度の円礫・亜円礫が主体である。礫間は粘土混じり粗砂で充填される。3.5～5m付近は粘土分が多い。5m付近にコア長150mm程度の玉石が混じる。5m以深はφ100mm程度の玉石が点在する。			3.45	6	5	5	16	30	16					
				粘土混じり砂礫(GS-C)							4.15			15	50	>50						
											4.42	16	19	7	27	>50						
											5.30				42	30	42					
											5.60	20	12	10	30	37	5.50					
											6.15				37	30	6.00	現場透水試験 4.53E-02cm/s				
											6.45	10	12	15	30	37						
					褐		密な				7.15			14	50	>50						
											7.40	15	21	5	25	>50						
											8.15			14	50	>50						
											8.40	17	19	5	25	>50						
											9.15			10	50	>50						
											9.39	20	20	4	24	>50						
	88.28	6.95	10.45								10.15	9	14	15	38	38						
											10.45				30							